



10月3日(土)オータム・ジャズ・コンサート(町生涯学習センター・ホール)

うたごよみ 霜月

「短歌」

渡辺幸士選

台風も運よく逸れて穂は実り今か今かと稲刈りを待つ 緒方 明美

いとなく秋は来にけり裏庭の秋明菊の蕾ふくらむ 塚原 暁益

露草も揃って咲けば賑やかでひとつひとつが大きな力 清田ひで子

散歩路に真つ赤に咲ける彼岸花風も涼しく秋の訪れ 赤星 文子

露天湯に迷い入り来し蜻蛉は人から人に声掛けらるる 森田 房恵

慣れし手でお世話下さる介護士に父は甘えて話かけ居り 赤星 延子

墓参して見上ぐる空に鱗雲田の畦見れば彼岸花咲く 塚本 俊子

離れ住む姉の電話は長々と独り暮らしを紛らわすこと 内田乃武子

家屋敷みな濁流に流さるるテレビ映像啞然と見おり 上村やす美

異常なる暑き夏にも柿の実は小さきままにたわわに実る 吉永由紀子

敬老の日に離れ住む孫らより「長生きしてね」とメールが届く 池田キヨ子

銀杏樹は空をおほいて蝉時雨ふるなか墓碑の香煙上る 上村 かず

嫌いだと言ってしまったちぎれ雲はてなき秋の空に漂う 渡辺 幸士

※10月号に掲載した短歌についてお詫びと訂正

(誤) 夏祭り大輪咲かす花火師の苦勞を思い 枝に酔いたり 池田キヨ子

(正) 夏祭り大輪咲かす花火師の苦勞を思い 枝に酔いたり 池田キヨ子

作者ならびに読者の皆様にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫びいたします。

「川柳」

渡辺幸士選

「祭り」

豊作で祭り太鼓も良く響く 林 雅之

あちこちの人が集まる村祭り 古閑千ヨミ

歳老いて祭り囃子を遠く聞く 布田 愛子

夏祭り見よう見まねで踊り出す 森田千鶴子

「いらいら」

国民のいらいら暑さだけでない 清川みどり

いらいらの口実設け旅に出る 本田長久子

いらいらと鮎詰めの秋レストラン 安浪 アキ

国会の審議いらいら募るだけ 渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

秋ですネエ 朝昼晩で着替えなん 広田みどり

秋ですネエ シックなドレス見てるだけ 下山 千恵

秋ですネエ お腹の虫も目を覚まし 志垣 光

秋ですネエ 旅行のプラン練るも良し 佐藤 葵

秋ですネエ 夜空の星も澄んで来る 北畑 公美

秋ですネエ 故郷の祭り思い出す 木村 陽菜

秋ですネエ 吊し柿でん作ろうか 布田かんな

秋ですネエ 隣もサンマ焼きよらす 平井やよい

秋ですネエ 体重計ア嘘言わん 長原 産賀

秋ですネエ 雲の流れに癒さるる 佐野しよう

秋ですネエ 夜長の読書目の冴える 光永 六

秋ですネエ 意気込みむなしダイエット 井元あざみ

秋ですネエ ふと里心くすぐられ 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
096・234・2447(内線321)

# ひとの動き (敬称略)

9月11日(金)～10月10日(土)

birth			
お誕生おめでとう			
住所	氏名	性別	保護者
中横田	田上くらん	女	将
仁田子	丸山一輝	男	義輝
大町	美濃奏人	男	和行
西寒野	姉川開陸	男	藍

marriage			
ご結婚おめでとう			
	住所	氏名	
[ 夫	神奈川県	森中 将崇	
	妻	坂谷 境 沙織	
[ 夫	熊本市	阿野 遼	
	妻	船津 井芹 瑠美	

condolence			
お悔やみ申し上げます			
住所	氏名	年齢	世帯主
岩下	廣田ヤエ子	95	ヤエ子
西寒野	小島ツルエ	84	廣
大町	白梅 タツ	98	武 信
下横田	本田 波江	95	授
上揚	松村 廣人	92	君子
岩下	内山 義晴	88	タミエ
上早川	山田須磨子	75	誠 逸

data		
甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,289	△ 5
女	5,882	△21
計	11,171	△26
世帯数	4,302	△ 7

平成27年9月30日現在

## こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

### 里芋のゴマよごし

#### ご存知ですか？

ねっとりとした独特な味わいがなんとも言えない里芋の煮物は、おふくろの味の代表格とも言えますね。

里芋のぬめり成分ムチンは、消化を助ける働きがあるので毎日少しずつ取ると便秘に悩まなくて済みそうです。

また、里芋に含まれるガラクトタンは、免疫力を高めるためがん細胞の増加を抑えます。



#### 材料（4人分）

- 里芋 …………… 4～5個
- ※合わせダレ
- すり黒ゴマ …………… 大さじ 4
- 砂糖 …………… 大さじ 2
- しょうゆ …………… 大さじ 1～2
- 塩 …………… ひとつまみ

#### 作り方

- ①里芋は、よく水洗いして水気を軽く切っておきましょう。
- ②十分に湯気が上がった蒸し器で①を串がすっと通るくらいやわらかくなるまで蒸します。
- ③粗熱がとれたら皮をむき、里芋を食べやすい大きさに切ります。
- ④合わせダレの調味料は、砂糖のざらつきがなくなるまでよく混ぜておきましょう。
- ⑤里芋に④の合わせダレをからめたら出来上がりです。ゴマが偏らないように注意してくださいね。

※のどが弱い人は、里芋のぬめりがのどを刺激するので、ちょっと控えめに食べたほうが良いでしょう。

## 編集後記

秋晴れの穏やかな陽差しが、校舎の窓からあふれる廊下の影はにかみながら、歩み寄る来訪者に明るくあいさつする生徒たち。授業中の教室では、やや余り気味の机を挟んで先生と向き合い、素直に会話をつむぐ。「今春に赴任してきて、本校の生徒たちの優しさで真っ直ぐさに、いつも癒やされているんです」と笑みがこぼれる、甲佐高校の山下由美校長。「福祉やビジネス情報、そして普通科も社会のニーズに答えられる、地域でも世界でも広く活躍できる人となるよう、甲佐町の自然と環境の良さを生かした教育で、教職員も生徒たちと共に学んでいきます」と意気に燃える。

取材を終えて正門を通り抜ける、誰もいない校門に向かって静かに一礼し、学舎後にいる生徒たちの背中。色づき始めた校内の銀杏がまぶしい。(C)